

タブレットを活用した教育のために

タブレットPCの活用に係る教職員向け研修会開催

授業における1人1台のタブレット端末の活用を円滑に進めるため、タブレットを教育現場で活用する方法についての説明や各学校の教職員が日頃抱えている課題や問題点に対して情報提供を行い、ICT教育を進めていくための研修会が教育委員会主催で行われました。

1月29日より全5回の研修が行われ、現在では教員だけでなく、児童生徒もタブレット端末を使い始めており、総合学習の発表や体育の時間などにも活用されています。



▲実際にタブレット端末を用いて研修を受講する教職員

吉田喜義さん産業貢献賞受賞

令和2年度北海道産業貢献賞贈呈式



▲賞状を受け取り記念撮影をする吉田喜義さん(中央)

2月24日、町長室にて「北海道産業貢献賞(農業関係功労者)」の贈呈式が行われ、吉田喜義さん(豊泉)が受賞されました。

昭和54年から約40年間にわたり、家畜伝染病の防疫に尽力され、北海道家畜畜産物衛生指導協会の委嘱獣医師として伝染病予防対策に貢献されました。

吉田さんは表彰状を受け取り感謝の意を述べ、今後も地域やクライアントとともに頑張りたいと話されていました。

この度は受賞、おめでとうございます。

「落ちないホタテ」で受験生応援

噴火湾とようら観光協会が受験生へお守り寄贈



▲観光協会の田中さん(右)からお守りを受け取る佐藤先生(左)

2月8日、噴火湾とようら観光協会が豊浦中学校の3年生25名のために、手作りの受験合格祈願お守り「落ちないホタテ」を贈りました。

このお守りは、地元の漁師さんから提供された、荒波のなかでも海中のロープから落ちずに水揚げされる貝殻に、「合格」の文字が入ったホタテや大漁旗が貼ってある縁起物です。豊浦神社で合格祈願を行った後、3年生担任の佐藤みなみ先生から受験生へ手渡されました。

受験生の皆さん、頑張ってください！

まるごと豊浦北の収穫祭特別編

活ホタテの即売会

2月21日、ふるさとドーム駐車場にて、活ホタテの即売会が行われました。

毎年、まるごと豊浦北の収穫祭において、活ホタテを販売していましたが、新型コロナウイルス感染症対策により、ドライブスルー方式を取り入れて行われました。

会場では、約120台の車両が事前に予約販売した約240箱の活ホタテ(20枚入)が入った発砲スチロールを受け取っていました。



▲スタッフが手際よく来場する車にホタテを積み込んでいました